

まなびの森



全児童生徒の力が集まると…

【折り鶴プロジェクト】9月25日の中国新聞には、「折り鶴つなぎ最長 15.5797 キロ」という記事が掲載されていました。この通信でも6月号でお伝えしましたが、吉和学園の全校児童生徒が協力した「日本赤十字社100周年の折り鶴プロジェクト」です。9月24日、公式認定員によってギネスの世界記録が更新されました。



この企画は本校の5・6年生がプロジェクトリーダーを担っていました。5・6年生が全校に呼びかけて作成した折り鶴3001羽を、夏休み前に、丹念に確認しながら、色別に数を数え、袋詰めしてくれました。この折り鶴は、今後ノートに再生されて、ネパールの子供達のもとに届けられます。全児童生徒の力が、一つの大記録への挑戦とネパールの子供達への贈り物づくりに貢献することができました。

【吉和運動会の練習】今年度は、地域の一般参加の種目は残念ながら見送られましたが、実に3年ぶりに吉和運動会を開催する運びとなり、着々と準備が進められています。保護者・地域の皆様が夏休み中に環境整備をしていただいたおかげで、いつもより一回り大きいトラックを描くことがで

りました。縦割りのグループで中学生が小学生



みんながんばっているね！



にソーランの演技の伝達・助言をしてくださいました。本校は、全校児童生徒54名という人数を活かし、合同学習や縦割り集団での活動を多く仕組んでいます。全校ソーランでは、毎年、先輩から受け継いだ技を後輩に伝えています。低学年の頃、中学生から演技を教えてもらった生徒は、教え方・言葉のかけ方・励まし方・できた時に一緒に喜ぶこと・寄り添いつながること…ソーランの練習という活動の中にある大切なことを、教える立場で思い出したことでしょう。中学生になって初めてソーランの演技をする生徒も、演技の確認をしつつ、小学生にも声をかけてくれています。中学生がまた一段と成長していると実感します。その姿を見て後輩達も学んでいると思います。

学校では様々な学習場面を通して、児童生徒一人一人に合った学びとなるよう力を尽くしていきます。2学期もよろしくお願いいたします。